

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
42	目黒	2号炉	休炉	R8.2.3	14:00	R8.2.28	10:00	R8.3.2	15:17	R8.3.3	12:19	給じんフィーダ下ホツパシュートの状況確認を行ったところ、閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
41	有明	1号炉	休炉	R8.2.24	21:00	R8.2.25	13:40	R8.3.30	16:15	R8.3.31	15:50	1号焼却炉右側壁部のケーシングから水が垂れていることを確認した。原因調査のため焼却炉を立ち下げた。
40	目黒	1号炉	休炉	R8.2.3	14:00	R8.2.22	10:00	R8.2.26	15:20	R8.2.27	12:23	燃焼ストーカ下ホツパシュートとストーカ下コンベヤ接続部付近より水封水が飛散した跡を発見した。現場調査をしたところ、給じんフィーダ下ホツパシュートの閉塞を確認した。閉塞解除及び原因調査のため、焼却炉を立ち下げた。
39	練馬	1号炉	休炉	R8.2.3	10:00	R8.2.9	10:00	R8.2.13	15:10	R8.2.14	13:44	水冷ストーカのストーカ循環水の水漏れを確認した。経過観察としていたが、漏れ量が増加傾向にあることを確認した。運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
38	足立	1号炉	休炉	R8.2.2	15:00	R8.2.4	13:30	R8.3.17	14:53	R8.3.18	10:54	1号炉ボイラ外部ケーシングより水滴が滴下しているのを発見し、調査のために焼却炉を立ち下げた。
37	港	1号炉	休炉	R8.1.27	21:39	R8.1.27	23:00	R8.3.9	21:00	R8.3.10	10:23	1号炉集合コンベヤのフライト、主務チェーンの一部が破断したため、飛灰を搬送することができなくなった。即時の復旧は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。このまま中間点検に入る。
36	千歳	1号炉	休炉	R8.1.19	23:02	R8.1.19	23:02	R8.1.29	13:00	R8.1.30	12:45	中央炉用C/C地絡により当該系統がトリップした。それに伴い、系統内の誘引ファン回転数制御盤も電源断となり誘引ファンが停止し、焼却炉が緊急停止となった。
35	豊島	1号炉	休炉	R8.1.19	22:45	R8.1.19	22:46	R8.3.5	0:13	R8.3.5	11:06	炉内圧力上限警報が発報し、その後、炉内圧力異常高により1号炉が非常停止した。
34	世田谷	1号炉	休炉	R8.1.8	16:30	R8.1.9	21:00	R8.1.17	21:42	R8.1.18	11:09	燃焼溶融炉の流下口閉塞が頻発しており、冷却水が漏水している可能性が高い状況であった。調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
33	練馬	2号炉	休炉	R7.12.24	10:00	R8.1.9	10:00	R8.1.15	17:11	R8.1.16	16:10	水冷ストーカのストーカ循環水の水漏れを確認した。経過観察としていたが、漏れ量が増加傾向にあることを確認した。運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
32	多摩川	2号炉	休炉	R7.12.27	23:08	R7.12.28	1:00	R8.1.8	15:31	R8.1.9	19:00	運転中、2号煙突入口ガス流量が急上昇した。流量計のエアパージ等を実施したが改善せず、維持管理計画値を超過した。流量計の不具合が疑われるため、焼却炉を立ち下げた。
31	板橋	1号炉	休炉	R7.12.25	3:07	R7.12.25	5:00	R7.12.25	16:31	R7.12.25	20:17	主灰シュートダブルダンパの開渋滞が発生した。点検口を確認したところ灰の堆積が確認されたため、焼却炉を立ち下げた。
30	世田谷	2号炉	休炉	R7.12.24	3:00	R7.12.24	5:57	R8.1.10	20:44	R8.1.11	10:01	燃焼熔融炉冷却水の漏水の疑いがあるため様子を見ながら運転を継続していたが、流下口が閉塞し焼却継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
29	世田谷	1号炉	休炉	R7.11.24	17:15	R7.12.19	23:00	R7.12.27	21:49	R7.12.28	12:01	不燃物排出装置にワイヤー等の不適物が継続して絡まり、動作に支障をきたしかねない状態となっていた。焼却炉の安定稼働のためにはガス化炉内部及び不燃物排出装置内部の清掃が必要と判断し、焼却炉を立ち下げた。
28	世田谷	1号炉	休炉	R7.11.16	15:05	R7.11.16	20:35	R7.11.18	21:37	R7.11.19	10:16	不燃物排出装置に絡まった不燃物除去のため、ガス化炉締切ゲートを閉とした。不燃物除去後にガス化炉締切ゲートを開にしようとしたところ全開にならなかったため、油圧を上げて再度開操作を試みたが復旧できなかった。砂循環及び不燃物の抜き出しに支障が出るため、焼却継続困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
27	墨田	1号炉	休炉	R7.10.22	13:00	R7.11.16	0:00	R7.11.20	13:51	R7.11.21	14:13	高圧蒸気だめフランジ部から蒸気漏れを発見した。漏れ箇所の補修を行うため焼却炉を立ち下げた。
クレーン 5	足立	3号ごみクレーン	停止	R7.12.5	21:00							3号ごみクレーンにおいてバケットの開閉動作に異常が生じ、安定してごみを掴むことができなくなった。そのためクレーンの使用を停止した。
26	世田谷	2号炉	休炉	R7.11.12	20:46	R7.11.14	19:00	R7.12.17	21:14	R7.12.18	11:23	No.3不燃物搬送コンベヤでトルクリミッタが作動し、機器停止した。現場調査をしたところ、コンベヤのチェーンプレート破断を確認した。補修のため焼却炉を立ち下げた。このまま計画停止に入る。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
25	豊島	1号炉	休炉	R7.11.14	4:30	R7.11.14	4:31	R7.11.28	10:27	R7.11.28	22:01	流動不良による異常燃焼により蒸気ドラムレベル異常高が発報し、インターロックにより非常停止した。このまま中間点検に入る。
24	新江東	3号炉	休炉	R7.11.8	22:00	R7.11.9	0:28	R7.11.24	15:27	R7.11.25	13:27	3号炉灰コンベヤトルクリミッタが作動した。現場確認をしたところ、チェーンローラー部の補強用フラットバーがケーシングから剥がれ、ローラーに噛みこんでいるのを発見した。灰の搬出が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
23	葛飾	2号炉	休炉	R7.11.6	5:36	R7.11.6	13:34	R7.12.4	0:55	R7.12.4	17:14	2号第1ボイラダストコンベヤの機器異常が発生し、ボイラダストの排出が不可能となった。コンベヤ主軸が破断していたため改善の見込みが無く、ボイラ設備への影響が懸念されるため焼却炉を立ち下げた。
22	世田谷	1号炉	休炉	R7.10.29	1:25	R7.10.29	2:08	R7.10.31	21:18	R7.11.1	11:00	破砕ごみ供給装置への長尺ごみ巻き付きにより、ガス化炉へのごみ供給が不安定となった。破砕ごみ供給装置の正逆転運転にて復旧を試みたが復旧できなかったため、焼却継続困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
21	板橋	2号炉	休炉	R7.10.25	17:00	R7.10.25	17:54	R7.11.10	16:16	R7.11.11	12:05	エコノマイザ出口の排ガス温度が下がったため現場確認を行ったところ、灰搬出コンベヤが湿潤していた。調査のため、2号炉を立ち下げた。
20	杉並	1号炉	休炉	R7.10.16	14:00	R7.10.19	14:00	R7.10.20	18:56	R7.10.21	18:35	日常点検で1号No.3ボイラ灰移送コンベヤチェーンが変形していることを確認した。チェーン破断のおそれがあったため、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
19	大田第一	2号炉	休炉	R7.10.18	0:47	R7.10.18	4:15	R7.10.19	16:01	R7.10.20	14:12	灰搬出コンベヤ1で故障が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンリンクが脱落していることを確認した。灰の搬出が出来なくなったため、運転中の2号炉を立ち下げた。
18	墨田	1号炉	休炉	R7.10.2	8:00	R7.10.2	10:20	R7.10.8	13:54	R7.10.9	14:59	蒸気式空気予熱器から脱気器への蒸気配管より蒸気漏れが発生した。漏れ量が多く焼却炉を停止し調査する必要があるため、焼却炉を停止した。
17	豊島	1号炉	休炉	R7.10.1	15:50	R7.10.1	15:56	R7.10.1	17:35	R7.10.1	21:13	給じんプッシャーが中間位置で動かなくなり、1号ごみ給じん機レベルブリッジ警報が発報、ごみ供給が困難のため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				年	月	年	月	年	月	年	月	
16	世田谷	2号炉	休炉	R7.9.24	22:02	R7.9.24	23:10	R7.10.1	21:46	R7.10.2	10:30	砂分級装置でトルクリミッタが作動し、機器停止した。現場確認したところ、カップリング部のボルトが2本脱落していた。機器動作不能により焼却継続困難と判断し、原因調査のため焼却炉を立ち下げた。
15	大田(新)	2号炉	休炉	R7.8.26	21:19	R7.8.27	13:01	R7.9.12	16:12	R7.9.13	10:56	給じん装置機器異常(後退渋滞)が発報し、給じん装置の動作が不安定になった。油圧設定の変更や、インテグレーション操作等を行ったが、その後も異音や振動が生じた。調査のため焼却炉を立ち下げた。
14	港	3号炉	休炉	R7.8.26	0:25	R7.8.29	14:00	R7.9.4	21:01	R7.9.5	10:35	薬品供給ブロワの電流値上限警報及び吐出圧力上限警報が発報した。消石灰供給ラインが徐々に閉塞している恐れがあるため、供給配管の閉塞解除作業を行う準備が整い次第、焼却炉を立ち下げる。
クレーン 4	千歳	灰クレーン	停止	R7.8.25	11:26					R7.8.26	16:00	8/25の11:26に灰クレーンの横行インバータトリップが発生。再運転を試みるも同警報が再発し横行動作不可。横行側に動かないため灰ホッパに投入できず、搬出が不可能。ただし、「走行・巻上げ・掴み」は正常動作のため、落ち口の積替えは可能。
13	練馬	2号炉	休炉	R7.8.10	1:26	R7.8.12	17:00	R7.8.18	17:11	R7.8.19	16:17	予冷塔の洗煙用冷却水噴霧圧力[低]警報が発報し、冷却水流量が増加した。洗浄塔入口排ガス温度が上昇して洗煙設備バイパスとなる恐れがあるため、運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
クレーン 3	足立	2号ごみクレーン	停止	R7.8.6	17:00					R7.12.13	16:00	2号ごみクレーン走行車輪からの異音を確認した。車輪軸受部で鉄粉混じりのグリスを確認したため、クレーンの使用を停止した。
12	多摩川	2号炉	休炉	R7.8.1	11:00	R7.8.1	18:00	R7.8.5	14:00	R7.8.6	18:24	2号炉立上げ完了直前に、過熱器安全弁が吹出し圧力以下で作動しているのを発見した。当該安全弁の調査が必要になったことから立下げを行った。
タービン 3	中央	蒸気タービン	停止	R7.7.31	2:48	R7.7.31	3:44	R7.8.5	15:09	R7.8.5	16:06	蒸気タービン起動盤内のガバナシステムにおけるワンループコントローラー(指示調節計)の軽故障が発報した。その後、ガバナ制御が安定せず主蒸気圧力が低下し、重故障にてタービントリップした。
クレーン 2	品川	2号ごみクレーン	停止	R7.7.19	13:30					R7.11.6	9:00	ごみバンク整理のためクレーン手動運転を実施したところ横行位置検出異常が発生し、横行操作が不可能になった。調査の結果、横行車輪の軸受及びエンコーダーニオンギア軸破損を確認したため格納し、使用停止とした。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				年	月	年	月	年	月	年	月	
タービン 2	有明	蒸気 タービ ン	停止	R7.7.14	3:23	R7.7.14	3:23	R7.7.14	13:11	R7.7.14	17:28	母線側の瞬時電圧低下が発生したのち、タービン入口蒸気圧力が低下し始めた。その後、タービン入口蒸気圧力低により蒸気タービンがトリップした。
11	練馬	1号炉	休炉	R7.6.19	10:00	R7.6.30	17:00	R7.7.7	17:10	R7.7.8	16:34	水冷ストーカのストーカ循環水の水漏れを確認した。経過観察としていたが、漏れ量が増加傾向にあることを確認した。運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
10	大田(新)	2号炉	休炉	R7.6.29	2:30	R7.6.29	16:12	R7.7.31	17:04	R7.8.1	10:50	第1燃焼ストーカ下ホッパ温度の上限警報が発報し、散水を行っても温度が下がらなくなった。シュート内部の状況確認のため、焼却炉を立ち下げた。このまま中間点検に入る。
9	多摩川	1号炉	休炉	R7.6.28	15:50	R7.6.28	18:30	R7.7.2	14:34	R7.7.3	18:00	回転ストーカ下部ストーカ下コンベヤ(1)の下流に設置されている1号系落じんコンベヤ(1)の従動側の軸が折損し、ストーカ下コンベヤ(1)側からの灰の排出が不可能となった。運転継続困難と判断したため、焼却炉を立ち下げた。
8	杉並	1号炉	休炉	R7.6.13	12:49	R7.6.13	14:31	R7.7.10	15:14	R7.7.11	11:43	「1号乾燥ストーカ下ホッパ温度B PV上限」が発報し、現場にて当該ホッパの温度上昇を確認した。ホッパシュート内部の状況確認のため、焼却炉を立ち下げた。このまま中間点検に入る。
7	世田谷	1号炉	休炉	R7.6.9	4:14	R7.6.9	8:26	R7.7.13	21:40	R7.7.14	11:05	ボイラ給水量と蒸気流量に乖離が生じていることを確認した。調査のため焼却炉を立ち下げた。
タービン 1	豊島	蒸気 タービ ン	停止	R7.6.7	16:01	R7.6.7	16:01	R7.6.19	9:23	R7.6.19	10:59	発電機監視盤及びDCSオペレータステーションで「回転整流器異常」が発報して、遮断器(52T)が解列し、また、蒸気タービンが停止した。なお、1号焼却炉は運転を継続中。
6	世田谷	2号炉	休炉	R7.6.4	6:56	R7.6.4	10:17	R7.6.11	21:56	R7.6.12	11:03	破碎ごみ解砕機下のケーシングに穴があいていることを確認した。焼却炉の運転継続が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
5	世田谷	2号炉	休炉	R7.5.25	6:33	R7.5.25	13:05	R7.5.30	21:51	R7.5.31	11:01	破碎ごみ解砕機の過負荷が発生した。正逆転にて復旧を試みたが復旧できなかったため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和7年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				年	月	年	月	年	月	年	月	
クレーン 1	新江東	3号ごみクレーン	停止	R7.5.30	4:16					R7.8.18	16:00	3号ごみクレーン横走行電源盤漏電が発報した。調査したところ、横行用ケーブル中間ハンガが1つ破断し落下していることを発見した。あわせて、横行用給電ケーブルの損傷を発見した。3号ごみクレーンはホッパへの投入に影響のない場所へ退避させた。
4	墨田	1号炉	休炉	R7.5.14	11:33	R7.5.14	16:00	R7.5.22	13:46	R7.5.23	12:32	No.2灰コンベヤトルク異常の警報が発報しコンベヤが停止した。コンベヤの正転動作ができないため、焼却炉を立ち下げた。
3	葛飾	2号炉	休炉	R7.5.11	1:32	R7.5.11	1:32	R7.7.10	14:35	R7.7.11	13:30	2号炉内圧力上限が発報し、2号焼却炉が非常停止した。このまま定期補修工事に入る。
2	世田谷	1号炉	休炉	R7.5.3	22:03	R7.5.4	3:22	R7.5.29	21:28	R7.5.30	11:04	二次燃焼室下ダスト排出コンベヤの過トルクが発生した。正逆転にて復旧を試みたが過トルクが再発し復旧できなかったため、焼却炉を立ち下げた。このまま計画停止に入る。
1	世田谷	2号炉	休炉	R7.4.1	14:30	R7.4.1	17:03	R7.5.1	21:22	R7.5.2	11:01	燃焼熔融炉出口がスラグにより閉塞し、二次燃焼室温度が低下した。閉塞解除のためバーナを使用すると、ろ過式集じん器入口温度の管理値逸脱の恐れがあったため、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
その他の 処理施設	京浜島不燃ごみ処理センター	A・B系	停止	R7.3.12	14:30	R7.3.12	15:45	R7.4.18	14:30	R7.4.19	10:00	巡回点検中にA・B系破砕物コンベヤ(1)の電動機付近で異音を確認した。原因調査のため、A・B系の処理を停止した。調査の結果、当該機器の減速機軸受の摩耗が原因であった。(令和7年4月19日10:00処理再開)
48	葛飾	1号炉	休炉	R7.3.24	6:19	R7.3.27	11:30	R7.6.9	14:51	R7.6.10	12:49	第1ボイラダストコンベヤの機器異常が発生し、ボイラダストの排出が不可能となった。インテグレーション等により復旧を試みたが、改善の見込みが無く、ボイラ設備への影響が懸念されるため焼却炉を立ち下げた。このまま定期補修工事に入る。